

会津大学短期大学部 会津若松市 大戸地区

会津短大大戸町盛り上げ隊
with 大戸まちづくり協議会



JUNIOR COLLEGE OF AIZU

大戸地区の概要

会津若松市南部にあたり、芦ノ牧温泉があるほか、農村集落、水田、山林などからなった地区である。

土地面積 : 59,644km²

人口 (2019) : 1480人

うち20歳未満 : 130人

出所 : 会津若松市企画政策部地域づくり課 (2020)



大戸地区の課題と今までの取り組み内容①

【2019年度の調査より】

竹林の荒廃

高齢化に伴う
里山保全活動の低下

鳥獣害被害の多発

猟友会の
高齢化や後継者不足

【2020年度の活動】

竹林保全法の模索

竹林荒廃 → 鳥獣害被害誘発
竹の使い道がないために荒廃

狩猟セミナーの開催

若い方に狩猟に
関心を持たせるため

大戸地区の課題と今までの取り組み内容②

【2021年度の活動】

竹の活用法の模索

- ・竹炭を使用した野菜と花苗作り
- ・竹ランタンイルミネーション
- ・竹を使った生活雑貨デザイン



粘土みたいなお香立て



今年度実施した取り組み内容

竹林保全活動の継続・継承

- ①竹林風景と竹伐採作業の撮影
- ②昨年度デザイン竹生活雑貨のテスト販売
- ③竹を活用したイベントの企画・商品デザイン

①竹林風景と竹伐採作業の撮影

竹伐採ができる人を増やしたい

360度カメラによる撮影



一般の方が
VR動画による伐採方法を視聴



VR動画を視聴することで、
竹伐採のハードルを下げることは可能か
を検証する



10月 360度カメラによる竹林内撮影

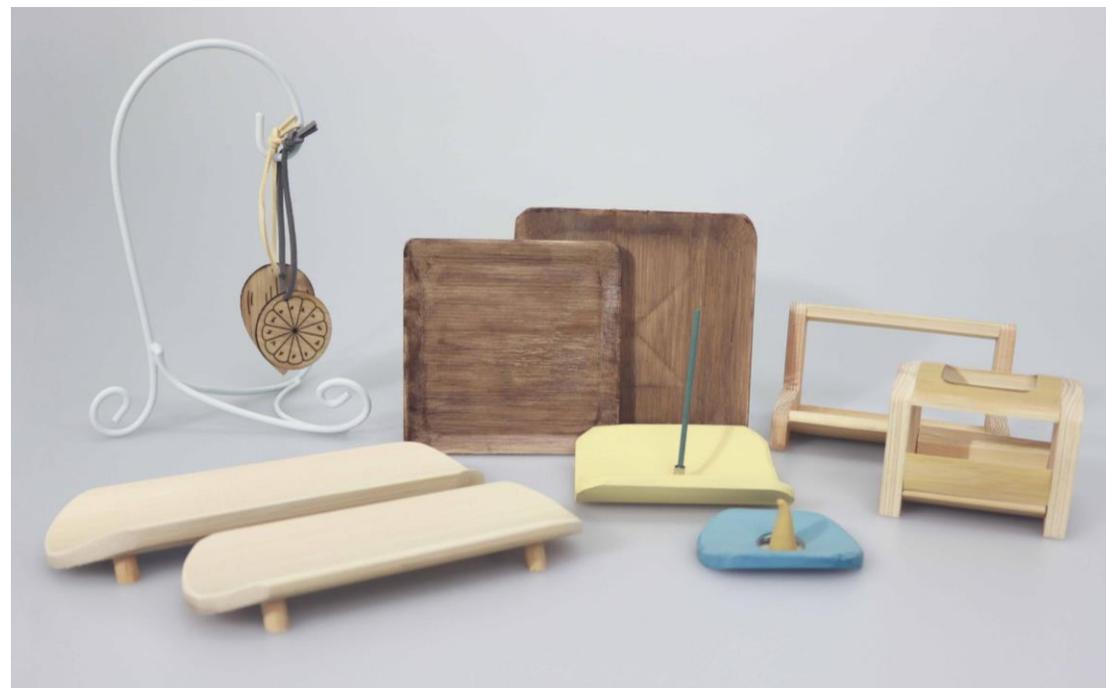
②昨年度デザイン竹生活雑貨のテスト販売

大戸マルシェにて出店

2022年7月16日（土）、2022年11月3日（木）



集合写真(7月16日)



実際に販売した生活雑貨

③竹を活用したイベントの企画・商品デザイン

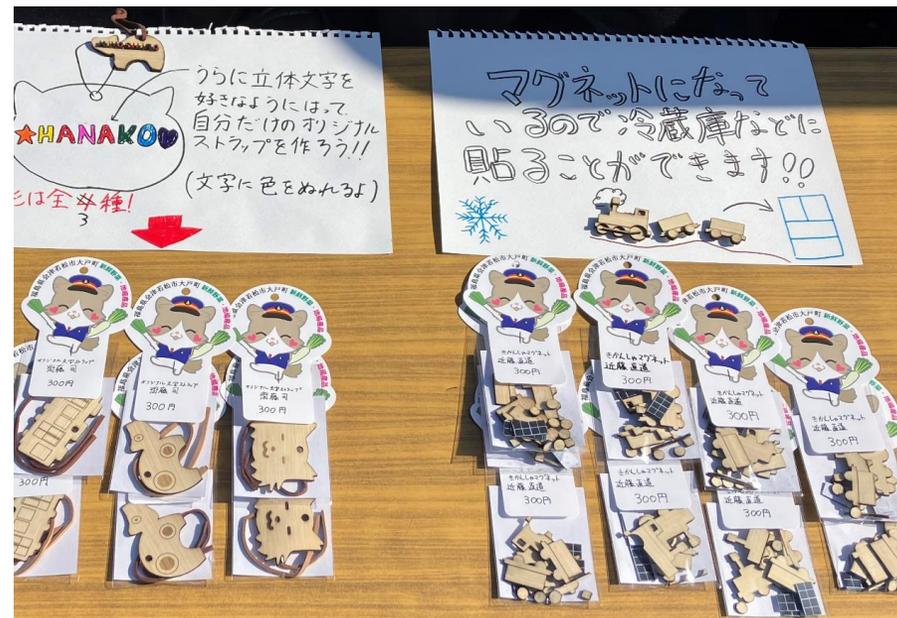
秋の大戸マルシェにて 2022年11月3日（木）

①なぞなぞクイズ大会

②竹を使った小物制作のワークショップ



(景品) デザインした竹ストラップ



ワークショップのためにデザインした竹の小物



大戸マルシェ当日の様子

まとめ

- 「体験する」「作る」という要素を追加した取り組みになったことで、前年度と比べて子供が興味を持ち、楽しんでいる様子が見られた
- 竹製品を販売するとき、マルシェに来た方に説明をするときに、竹を通じて放置竹林とかを知ってもらう経験になったとか感じてやりがい感じた
- 地域の方とは系統の違う竹製品のデザインが多いため、マルシェに出品している方からも評価された

今後に向けて

去年に引き続き、イベントで商品を購入・ワークショップで体験などをしてもらう活動が主体だったため、今後は体験教室のような観光客などがいつでも作ることができるような施設を設置し、放置竹林の解消を促進できるような提案をしたい

また、第一回の生活雑貨をデザインした学生は卒業してしまうため、デザインの作り方を継承しやすくするために、住民たちでも制作できる竹製品のデザインを来年度は提案したい